

ナゲットプロファイラー 操作手順書

再設定モードの使用方法

作成日：2019年6月3日

再設定モードとは



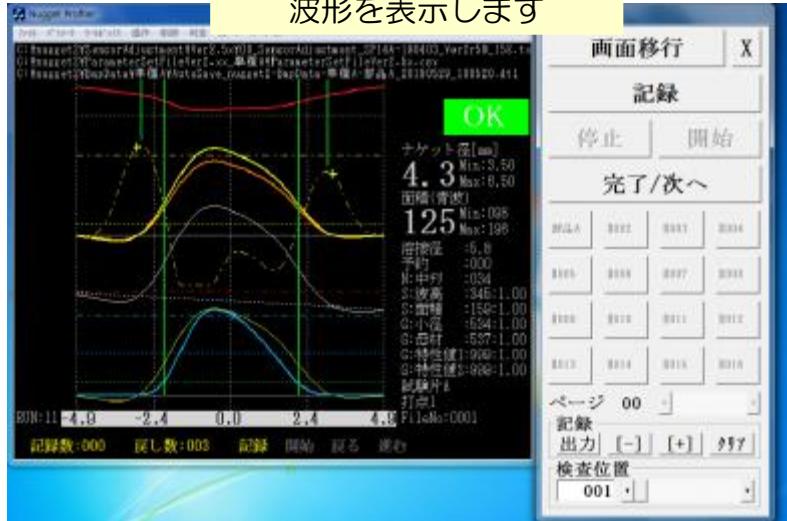
一度作成したパラメータファイルの変更・修正を行うとき、再設定モードを使用します。

再設定モードに移行すると、
パラメータファイル・パラメータ作成時の波形データを
読み込み、画面に表示します。

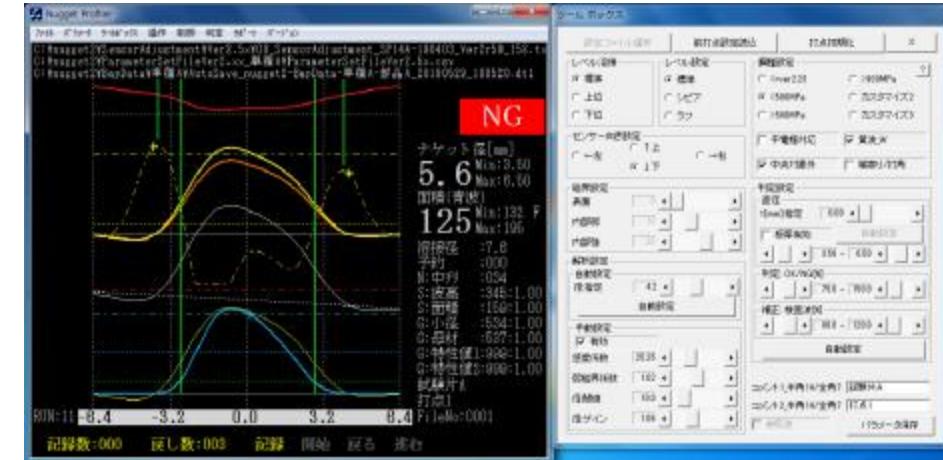
パラメータを変更する時は以下の場合があります。

- ・OK/NG判定基準を変更・追加したい。
 - ・パラメータ作成時に登録した径と破壊径が大きく異なっていた。

検査結果を読み込み
波形を表示します



パラメータの変更・修正を行い、
径やOK/NG判定を変更します



ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

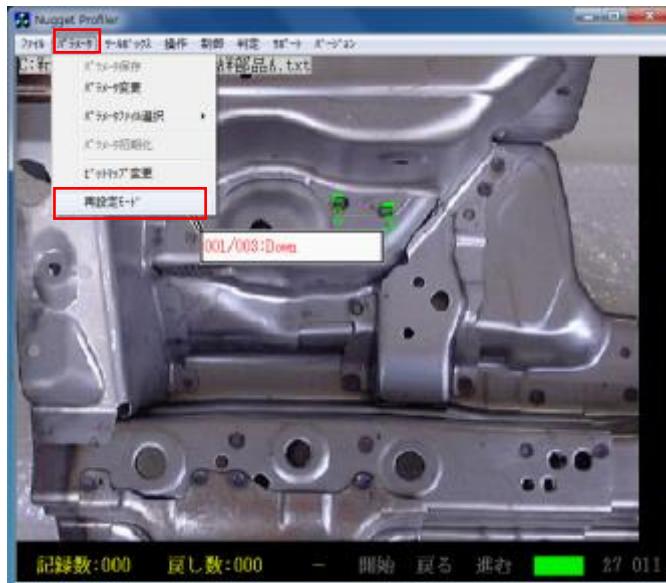
Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

Step1-1.再設定モードへ移行する



1.Nuggetを起動し、「ナビ記録」ダイアログから
パラメータを変更したいパートを登録したボタン
を選択します。



2.ナビモードの写真が表示されます。

3.画面左上「パラメータ」→「再設定モード」を
クリックします。

Step1-1.再設定モードへ移行する（つづき）



4. 「再設定モード」ダイアログが起動します。
以下が入力されています。

- ・データ選択：パラメータ作成時の波形データ
- ・写真選択：ナビモードの写真のリンク

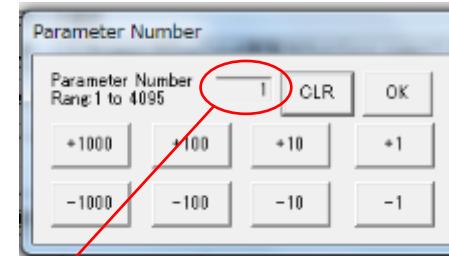
5. 「データ選択」欄がNULLの場合は「データ選択」をクリックしてください。
C:\Nugget2\Nugget2フォルダが開きます。
その中から、パラメータ作成時のデータ またはナビモードを用いて検査したデータを選択してください。

ナビモードを用いずに再設定する場合

5.1. 「ナビモード使用」の図を
外します。

5.2. 「ファイル選択」をクリックし、
変更するパラメータファイルを
選択します。

5.3. 「Parameter Number」
ダイアログに変更する
パラメータ列を入力します。



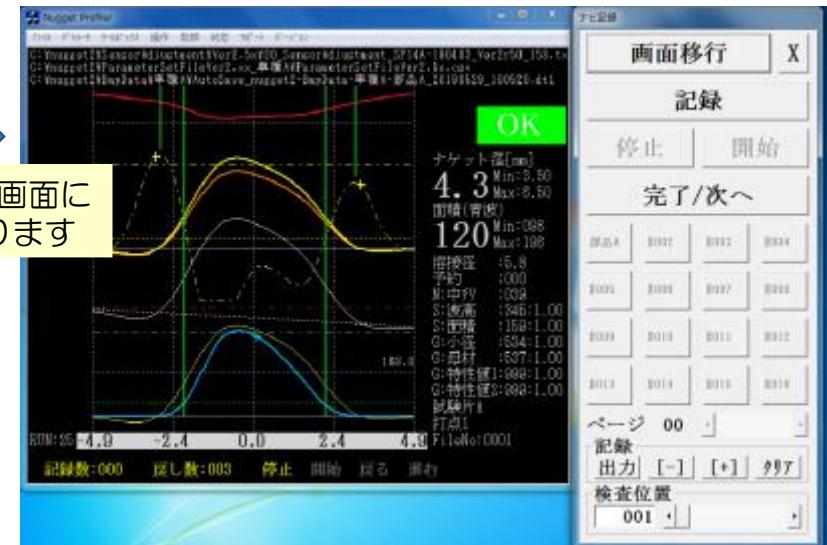
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	ParameterA	251								
2	ハラメク番号	コント1(全角)	コント2(全角)	ホーリド	横 AS: 設定	横 AS: 判定	横 AS: 判定	横 AS: 設定	横 AS: 判定	横 AS: 判定
3	0	default	default	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
4	1	試験片A	打点1	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75
5	2	試験片A	打点2	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75
6	3	試験片A	打点3	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75
7	4	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
8	5	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
9	6	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
10	7	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75
11	8	comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75

Step1-1.再設定モードへ移行する（つづき）

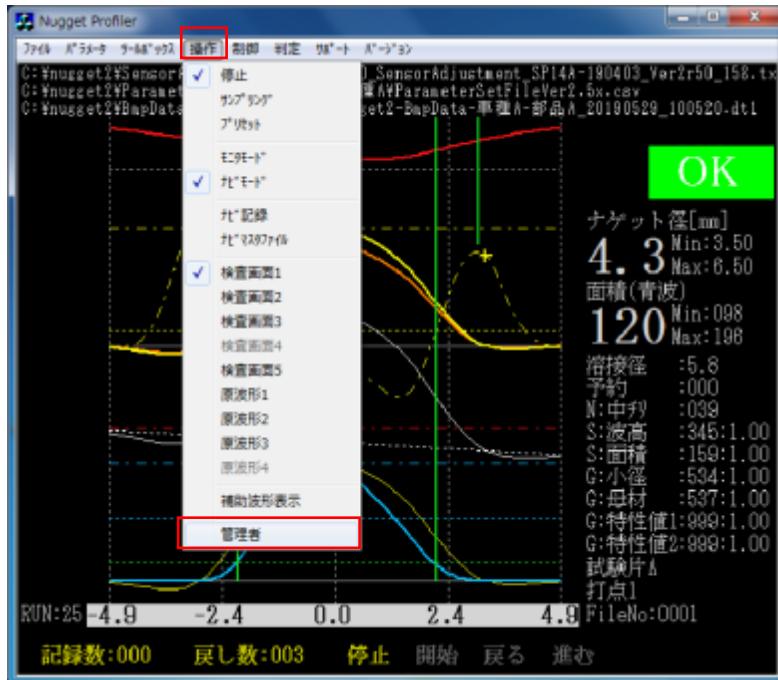


6. 「OK」をクリックすると、4で選択したパラメータファイル・過去の検査データが読み込まれます。

7. 「ナビ記録」ダイアログ内の「画面移行」をクリックすると過去の検査データ波形が表示されます。

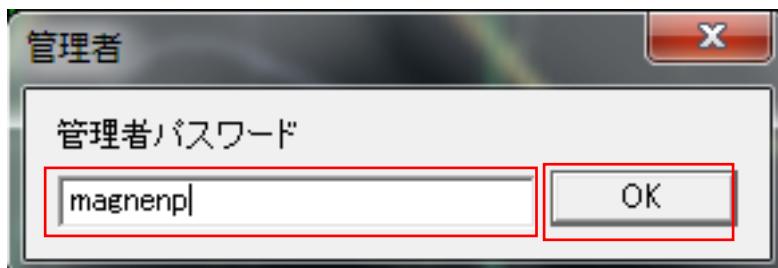


Step1-2.管理者モードへ移行する



1.画面上「操作」→「管理者」をクリックします。

2.「管理者」ダイアログが立ち上がります。



3.パスワード：「magnenp」を入力し、「OK」をクリックします。

4.「パスワードが一致しました。
管理者モードに移行します。」
のメッセージが出るので「OK」をクリックします。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

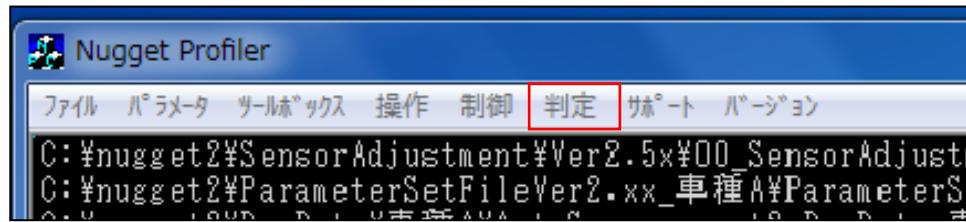
Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step2.パラメータファイルを変更する

Step2-1.判定基準を変更する

1.画面左上「判定」をクリックします。



2.「判定」ダイアログが立ち上がります。

ボックスに☑が入っている判定が有効になります。
OK判定の上限と下限を入力してください。

下記5項目でOK/NG判別を行うことができます。

1. 「ナゲット径 (青波:ナゲット)」
2. 「ナゲット径規格外 (青波:ナゲット)」
3. 「N面積 (青波:ナゲット)」
4. 「溶接径 (黄波:強磁界)」
5. 「N中チリ (青波:ナゲット)」

「補正」の項目を用いることで検査波形に補正をかけ、
OK/NGをはっきり判別できるようにします。



Step2-1.判定基準を変更する(つづき)

- ・ナゲット径 (青波:ナゲット)
ナゲット径 (青色波形の径) を用いてOK/NG判定を行います。
- ・ナゲット径規格外 (青波:ナゲット)
ナゲット径のWarningOKの範囲を指定します。画面には黄色でOK表示されます。
- ・N面積 (青波:ナゲット)
青色波形の面積 (溶接の溶け込み具合) を用いてOK/NG判定を行います。
- ・溶接径 (黄波:強磁界)
溶接径 (黄色波形の径) を用いてOK/NG判定を行います。
- ・N中チリ (青波:ナゲット)
中チリ (溶融金属が外に飛び出す) の判定を行います。
波形の歪さから推測します。



・補正

S:波高 (黄波:強磁界)

黄色波形の波の高さを用いて補正をかけます。

S:面積 (黄波:強磁界)

黄色波形の面積を用いて補正をかけます。

以下 (Gの項目) は特性値と呼ばれる項目を用いて補正を行います。
NPは磁気抵抗の他に様々な磁気情報(特性値)を算出しています。
その特性値の中で有用な項目を用いて補正をかけます。

G:小径

NG品 (径が小さいもの) に有用な可能性がある項目です。

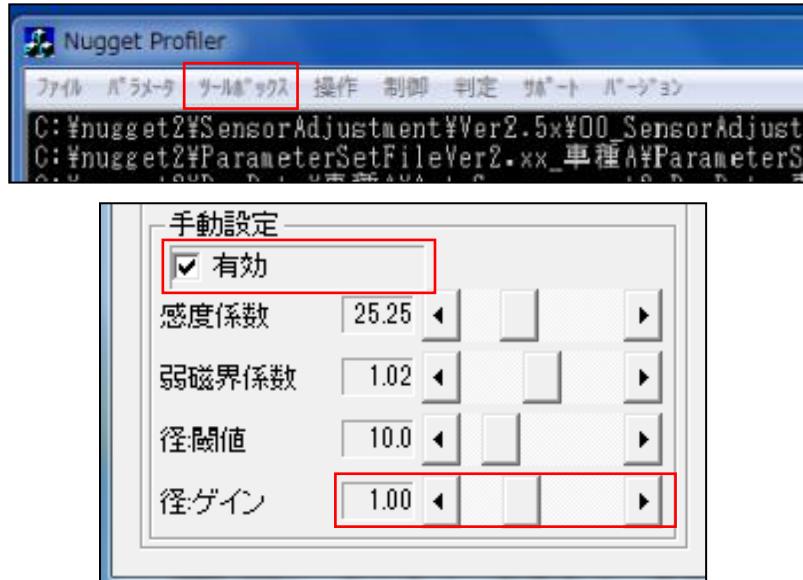
G:母材

母材に有用な可能性がある項目です。

G:特性値1、特性値2

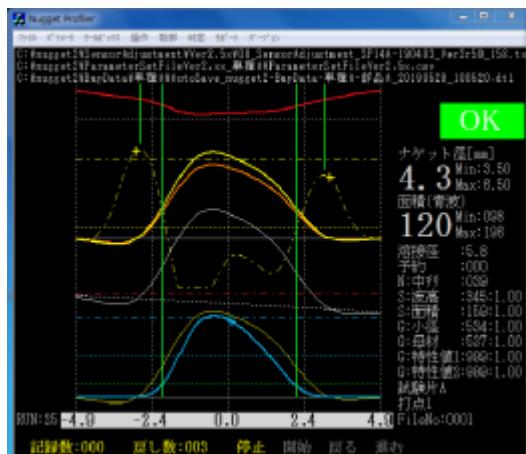
メーカー側で解析・指定した項目です。

Step2-2.検査径を変更する



例

径ゲイン : 0.81
検査径 : 4.3mm

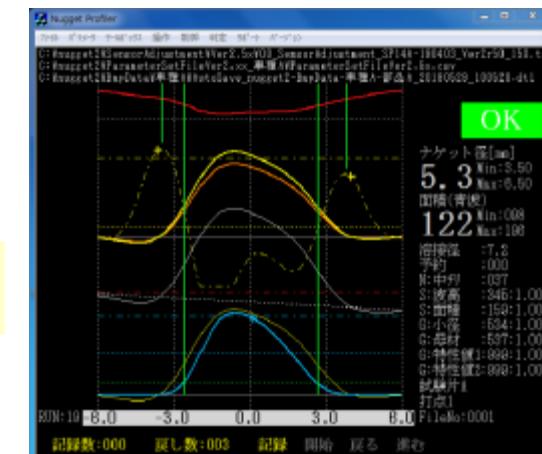


1.画面左上「ツールボックス」をクリックします。

2.ツールボックス内「手動設定」の「有効」に
☑を付けます。

3.「径:ゲイン」変更し、検査径を調整します。
他項目は基本的に変更しません。

径ゲイン : 1.00
検査径 : 5.3mm



ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

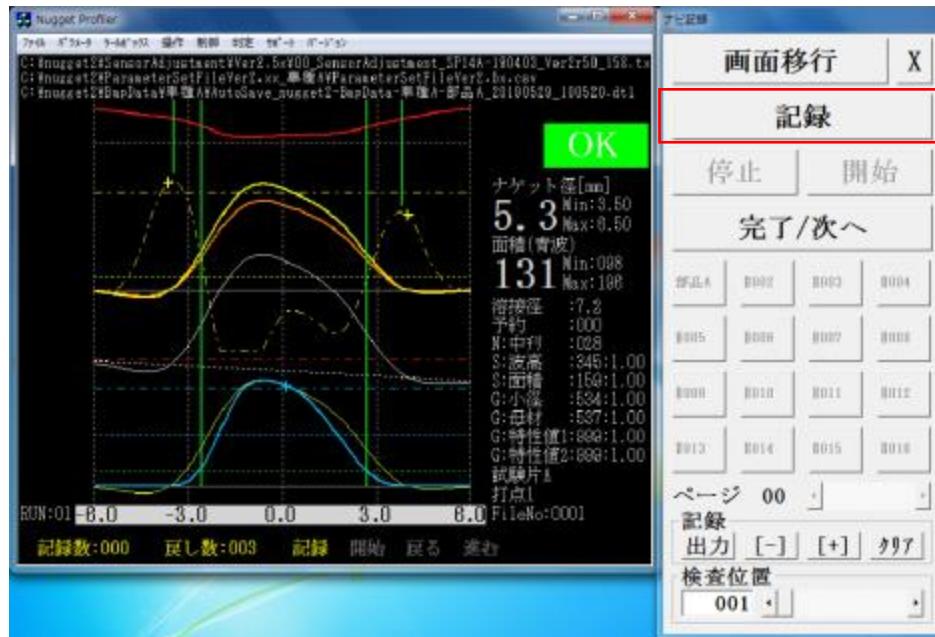
Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step3-1.パラメータファイルを保存する



- 1.ツールボックス右下「パラメータ保存」をクリックし、パラメータファイルを上書き保存します。

Step3-2.検査データを保存する



- 2.「ナビ記録」ダイアログの「記録」をクリックし、検査データを保存します。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

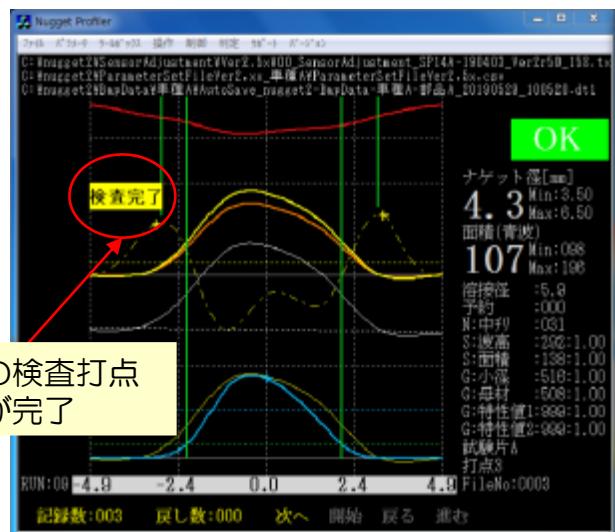
Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step4. Step2、3を繰り返す



1.画面が次の検査打点写真に移行します。

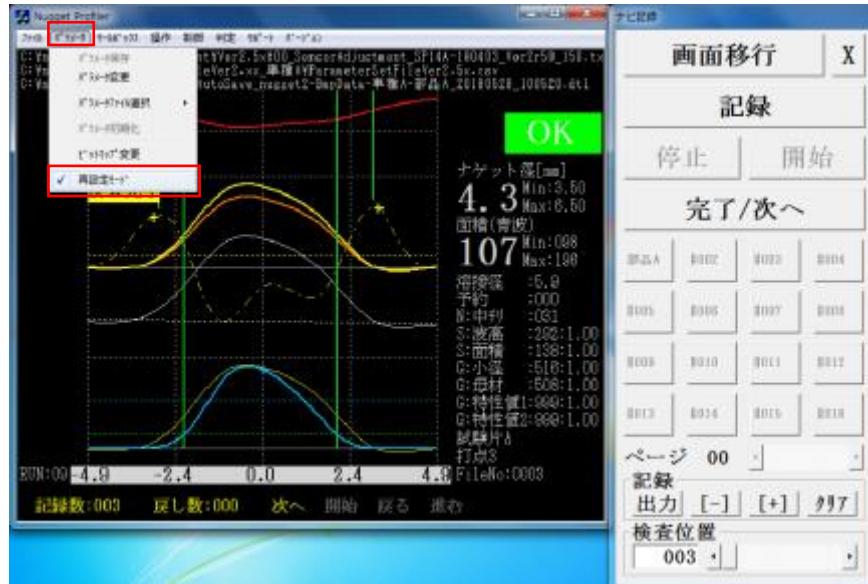
2.「ナビ記録」ダイアログ内の「画面移行」をクリックし、波形画面に移行します。



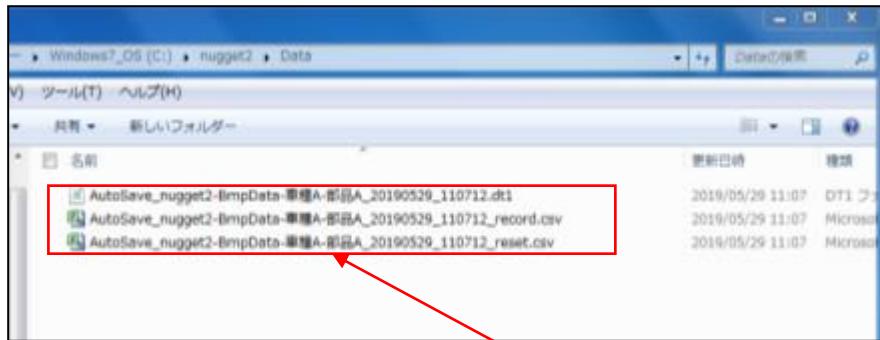
3.最終打点までStep2、3を繰り返します。

4.最終打点の検査データの保存を行うと画面に「検査完了」が表示されます。

Step4. Step2、3を繰り返す（つづき）



5.画面左上「パラメータ」→「再設定モード」をクリックし、再設定モードを終了します。



「.dt1」 「record.csv」 「reset.csv」
の3種類が保存されます

6. C:\nugget2\Data フォルダ内に検査データが保存されます。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

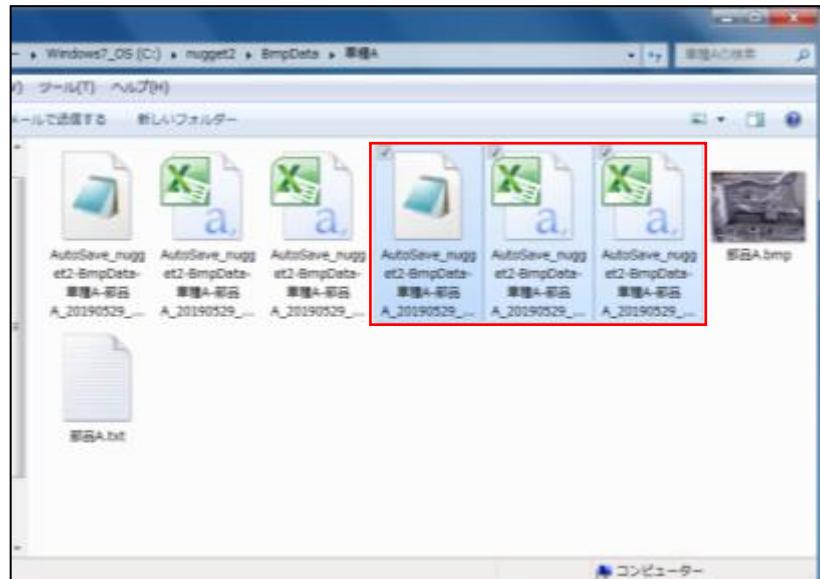
Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

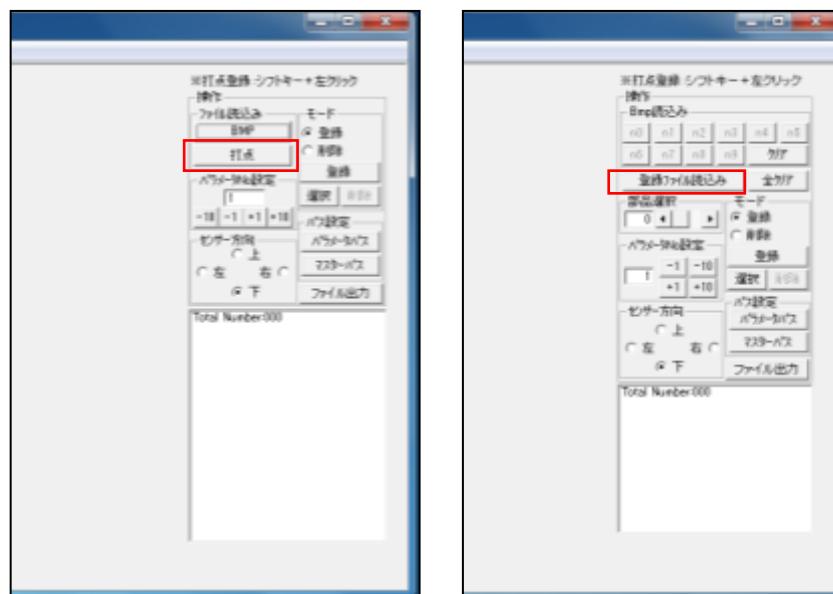
Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step5.写真に検査結果を再登録する



1. Step4-6で保存した検査データを
C:\nugget2\BmpDataフォルダ内の
写真の名称のフォルダ内に移動します。

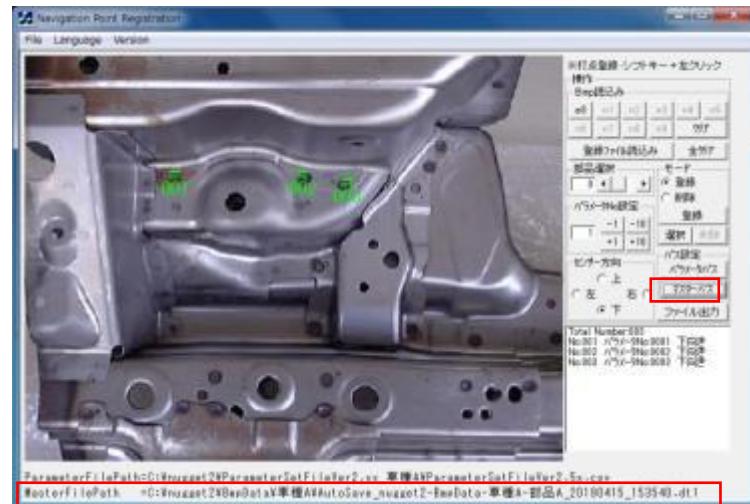


2. デスクトップにある
「BmpImage.exe-ショートカット」
をクリックし、打点登録ソフトを起動します。

3. 「登録ファイル読み込み」または
「ファイル読み込み」→「打点」を
クリックします。

Step5.写真に検査結果を再登録する(つづき)

4.写真の名称フォルダ内のtxt.データを選択します。



5.検査打点の写真が表示されます。

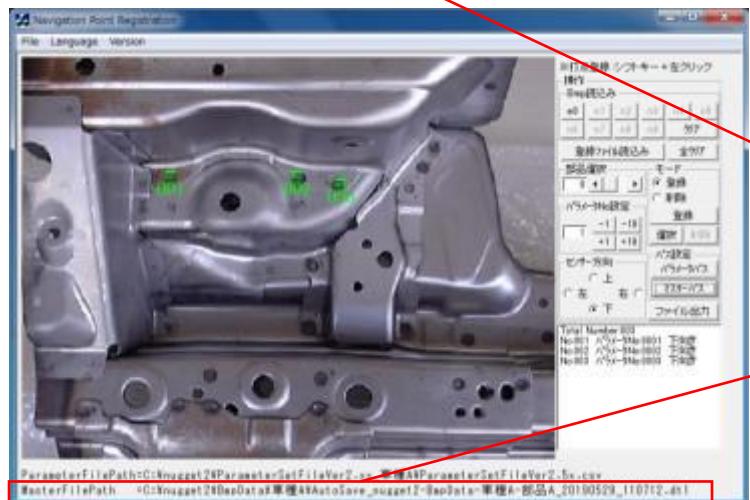
「パス設定」→「マスターパス」をクリックします。

6.Step5-1で移動したreset.csvデータを選択します。

(.dt1データ、reset.csvデータのどちらを選択しても問題ありませんが、reset.csvデータの方が時間平均回数が少なく、より精度の高いデータになります。)

7.新しいマスターパスが登録されます。

「ファイル出力」をクリックし、保存します。



ParameterFilePath=C:\nugget2\ParameterSetFileVer2.xx_車種A\ParameterSetFileVer2.5x.csv
MasterFilePath =C:\nugget2\BmpData\車種A\AutoSave_nugget2-BmpData-車種A-部品A_20190529_110712.dt1



マスターパスが変更されます

ParameterFilePath=C:\nugget2\ParameterSetFileVer2.xx_車種A\ParameterSetFileVer2.5x.csv
MasterFilePath =C:\nugget2\BmpData\車種A\AutoSave_nugget2-BmpData-車種A-部品A_20190415_153540.dt1

操作は以上で完了です。

EOF